



## ロータリーにおける公共イメージ向上とブランドリソースセンターの活用

### 第3 地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 笹山 義弘（加治木 RC）

ロータリーの活動は、地域社会や世界に対して多くの価値ある奉仕を生み出しています。しかし、その活動が十分に知られていない場合、社会からの理解や共感、そして新しい仲間を得る機会を失ってしまう可能性があります。だからこそ、いま「公共イメージの向上」はロータリーにとって極めて重要なテーマとなっています。

公共イメージとは、単に広報を行うことではありません。ロータリーがどのような理念を持ち、どのような奉仕を行い、社会にどのような価値を提供しているのかを、分かりやすく、統一された形で社会に伝えていく取り組みです。これにより、地域社会の信頼と理解を高めるだけでなく、将来の会員となり得る人々にロータリーの魅力を伝えることにもつながります。

そのために重要となるのが、ロータリーのブランドを正しく理解し、統一感をもって発信することです。ロータリーは世界的な組織であり、国や地域が違っても共通の理念と価値観を共有しています。そのイメージを社会に対して一貫した形で発信することが、ロータリー全体の信頼性を高めることにつながります。



この取り組みを支える有効なツールが、My ROTARY 内にある「ブランドリソースセンター」です。ブランドリソースセンターには、ロータリーのロゴの正しい使用方法、ポスターやチラシ、SNS 用の画像素材、広報ツールなどが豊富に用意されています。これらを活用することで、各クラブが専門的なデザイン技術を持たなくても、ロータリーらしい統一された広報物を作成することが可能になります。例えば、例会案内、奉仕活動の告知、地域イベントへの参加案内などにブランドリソースセンターの素材を活用することで、視覚的にも「ロータリーらしさ」が伝わり、社会に対して信頼感のある発信ができます。また、SNS やホームページでの情報発信においても、ブランドの統一はロータリーの認知度向上に大きく寄与します。

ロータリー公共イメージコーディネーターおよび補佐としては、各クラブの皆様はこのブランドリソースセンターの活用を積極的に推進し、ロータリーのブランドを大切にしたい情報発信を広げていきたいと考えています。具体的には、ブランド活用の理解を深めるための研修や資料提供、実際の広報物作成の支援などを通じて、クラブの広報活動をサポートしていくことが重要です。



ロータリーの価値ある活動を、社会に正しく、そして魅力的に伝えることは、未来のロータリーをつくる大切な一歩です。一人ひとりの会員が「ロータリーの顔」であるという意識を持ち、ブランドを意識した発信を行うことで、ロータリーの公共イメージはさらに高まり、地域社会とのつながりも一層強いものとなるでしょう。

今こそ、My ROTARY のブランドリソースセンターを活用し、クラブ全体でロータリーブランディングを推進していくことを提案いたします。